119 消防だより

☎83-2119

8月の広報テーマ
『火遊びによる火災の防止』

子どもの火遊びを防ぎましょう

子どもは、成長とともに、大人がすることに関心を示し、まねをして遊ぶようになります。

子どもの火遊びによる火災は、大人がいないときや人目につきにくい場所で発生することが多く、 また子どもは叱られると思い、なんとか消そうと消火を試みたり、恐怖でその場から動けなくなったりしてしまうこともあるため、火災の発見が遅れ、消火が困難となり、子どもが逃げ遅れて命を落とすという悲惨な火災が発生しています。

最近では子どもが簡単に着火できないよう、ライターなどが改良されておりますが、道具の進化だけでは安心できません。

大切なのは、保護者や周囲の大人が子どもたちへ火の恐ろしさを教え、火遊びは絶対にしてはいけないことだと繰り返し教えることです。また、恐ろしさだけではなく、普段の生活に欠かせない火の役割や大切さなども教えていく必要もあります。

6月 豊浦町火災・救急発生件数

●火災件数　1件(累計　1件)
●救急件数 17件(累計112件)

食中毒には気を付けましょう

毎年この時期になると、食中毒などで病院に運ばれる方が多くみられます。基本的な食中毒の予防方法を実践し、楽しい夏を過ごしましょう。

～食べるときに気を付けること～

・食べる前には必ず手を洗う
・食器は清潔なものを使用する
・高温の場所に長時間放置したものを食べない
・少しでもおかしいと思ったら絶対に口にせず捨てる

豊浦消防団 (7月1日現在)

消防団本部	7名
第1分団(本町地区)	36名
第2分団(大岸地区)	17名
第3分団(礼文華地区)	20名
定員85名	計80名

伊達警察署からのお知らせ

☎ 22-0110

水難事故を防ぐために

(1)指定された遊泳区域内で、泳ぎましょう。
(※町内は今季海水浴場での遊泳は禁止です。)
遊泳禁止区域では、急な深みなどがあり多くの危険が潜んでいます。
潮が沖に流れていく離岸流もあるので注意しましょう。

(2)子どもから目を離さないようにしましょう。
波の力で倒れたり、沖に流されたりする危険があります。
保護者の方は、水辺で遊ぶ子どもから目を離さず、近くにいるようにしましょう。

(3)体調不良時や飲酒後は泳がないようにしましょう。
体調不良時やお酒を飲んだ後は、呼吸が乱れやすく溺れる危険があるので泳がないようにしましょう。

(4)釣りをするときは、必ず救命胴衣を着用しましょう。
高波時の防波堤や滑りやすい岩場、流れが速い岸辺などには近づかず、安全な場所で行いましょう。

(5)水上オートバイは遊泳区域に入らないようにしましょう。
危険な運転はせず、必ず救命胴衣を装着して安全航行に努めましょう。